

中学と
違うの？

保護者はどう
関わった？

センパイに聞く 高校生活 3年間と 進路選択

取材・文／藤崎雅子 撮影／広路和夫

入学時は初々しく頼りなさが残る子どもも、
高校生活でさまざまな経験を積み、
悩み迷いながら3年後には
それぞれが選んだ道へと巣立っていきます。
そんな高校生の成長と将来のために
保護者ができることはどんなことでしょうか。
高校の先生のアドバイスを参考にしながら、
大学生3人のセンパイがふり返る高校生活を
もとに考えてみましょう。

子どもの自立と進路実現を促す、
保護者の関わり方とは？

情報チャネルを複数もち
高校生活を多面的に把握

高校受験を乗り越え、晴れて迎える高校生活。親子とも期待に胸を膨らませていることでしょう。高校では通学距離や交友関係の幅が広がるとともに、行動範囲も拡大します。保護

者には子どもの状況がわかりにくくなりますが、心配して子どもに根ほり葉ほり聞いて煙たがられる…ということは避けたいもの。長年高校生の進路指導・キャリア教育に携わってきた都立西高校副校長の笹のぶえ先生は、こうアドバイスしています。

「高校生はある程度、親子の距離がほ

しくなる時期。何を話すか、話さないかは、子どもに判断を委ねてもいいかもしれません。保護者はイエス・ノーで答えられる質問を矢継ぎ早にするのではなく、『どんな授業が楽しいの？』『それはどうして？』などオープンな言葉がけをしてはいかがでしょうか」

また、「子どものほかにも情報チャネルを複数もつことも大切」と笹先生。高校のウェブサイトや学校便り、保護者会など、子どもを介さないチャネルを活用すれば、煙たがられずに高校生活が多面的に見えてきそうです。

高校生活を熟知する先生がアドバイス



東京都立西高校 副校長
笹のぶえ先生

ささのぶえ ● 1981年都立南高校教諭に着任以来、商業高校、チャレンジスクール、進学校など多様なタイプの高校で、新設校の立ち上げやキャリア教育の推進などに携わる。2011年から進路指導重点校に指定されている都立西高校の副校長。文部科学省「高等学校キャリア教育の手引き」作成、文部科学省「専修学校教育の振興方策等に関する調査研究」などの施策にも協力。日本キャリア教育学会会員。社会人の息子2人の母。

センパイ3人の 高校生活を 次ページから紹介

高校時代は？

高校入学時の夢は「お医者さんになること」。でも「やっぱり好きな英語を深めたい!」と進路変更



首都大学東京
都市教養学部2年
森山夏帆さん

熊本県立熊本高校出身。将来は日本と外国をつなぐ仕事をするのが夢で、国際文化が学べる首都大学東京都市教養学部一般入試で入学。留学生との交流や、多様な国の文化が学べる授業を楽しんでいる。バドミントンサークルと書道部に所属し、勉強に課外活動にと充実した大学生を送っている。

高校時代は？

勉強、部活、課外活動に全力投球する中で、「数学」と「人と関わる」という進路選択の軸を発見



津田塾大学
学芸学部4年
工藤真吏奈さん

東京都立葛飾総合高校の一期生。数学が好きで、高校時代は理数系を中心に選択。数学科のある津田塾大学に公募推薦で入学し、現在は幾何学を専門に勉強。親の援助を受けず、奨学金とアルバイトで学生生活を送る。将来は事業を興えるような、経験豊富でおもしろい人間になるのが目標。

高校時代は？

フィンランドに1年間留学。帰国後は勉強の遅れを必死に取り戻し、大学受験も突破



慶應義塾大学
環境情報学部2年
笠原健人さん

中高一貫の男子校、私立世田谷学園高校出身。高校1年夏から1年間フィンランドに留学。帰国後は元の学年に戻り、一般入試で慶應義塾大学に入学。留学中に興味を持った、プログラミングや映像編集などITと教育の分野を中心に学んでいる。マジックとアカペラのサークルに所属。

進路選択の主体は本人だが 求められたら助言も必要

3年後の進路実現に向け、多くの高校では入学後間もなく、文理選択や進路希望調査など進路について考えさせる機会を設けています。将来についてまだ具体的にイメージできない子どももいるでしょうが、保護者はどのようか「フォローしていったらよいでしょうか。」

笹先生は、まず「本人の主体的な選択が前提」といいます。「子どもには失敗せずベストな道を歩んでほしいのですが、保護者がこの先ずっと正解を与え続けることはできません。高校生活を通して、困難な状況になった時に自分で解決する力を身につけてほしいものです。まして変動の激しい現代では、早い段階で失敗から学ぶことも必要。見ていてじりじりする

こともあるでしょうが、子どもが自分で体験し、考えて、進む道をみつけられるといいですね(同)

ただしそれは、「あなたに任せる」と保護者はいっさい口出しをしない、ということではないようです。

「親子のコミュニケーションについて生徒にアンケートをとると、『任せてほしい』と同じぐらい『必要な時はアドバイスをしてほしい』という回答が多いんです。

もちろん中学時代よりはアドバイスの回数や量は減るでしょうが、もう高校生だからとゼロにする必要はありません。子どもが相談するのは、よほど正しい情報や客観的な意見が欲しくてあげるときに、それに対してはしっかり答えてあげるべきだと思います(同)

現在の進路環境や入試方法などは、保護者の時代とは大きく変化しています。そんな現状を知らないと「任せ

る」しか言えず、子どもには「相談してもムダ」と思われてしまいます。いざ求められた時に的確なアドバイスができるよう、基本的なことは保護者なりに情報収集し、準備しておくとうまくいきます。

保護者に信頼されている子は 困難に立ち向かっていける

楽しい高校生活ですが、3年生の受験期ばかりは苦難が少なくないでしょ。こうした局面にも力を伸ばし希望の進路をつかむ子どもの共通点を、笹先生は3点あげています。

1つめは、「1年生から地道に学習していること」。忙しい毎日でも時間をやりくりして積み重ねてきたことは、やはり最後まで強さを発揮するようです。2つめは、「クラスや部活で良い人

間関係を築いていること」。よく「受験は団体戦」といわれるように、一緒に頑張る仲間がいることは大きな支えになります。そして3つめ、「保護者から信頼されていること」も、自分を信じて最後まで力を伸ばすことにつながると思います。

「保護者が子どもを信じているとは、失敗も含めて受け止める度量をもつことだと思います。そうした懐の深さを感じられると、子どもは安心して思い切った冒険ができ、困難に立ち向かうことができるのではないのでしょうか(同)

友人や家族と関わりながら、学校行事や部活など多様な経験を積んでいく高校3年間。受験期の困難に打ち勝つ体力や精神力は、こうした高校生活で少しずつ培われていくようです。そんな子どもの成長を信じ、見守っていききたいですね。

1年生

体力・気力の消耗が大きい時期。 文理・コース選択について 考え始める学校も

森山さん

ハイレベルな授業についていくのに苦勞。医師から英語関係へ、進路希望を変更

入学前の状況

アレギーのため通っていたお医者さんに憧れ、小さい頃から将来の夢は「医師になること」。一方で、中学時代に「英語がわかると話す相手と話題の幅が広がる」と、英語に魅力を感じて得意科目になっていた。

4月

- 入学
- 新入生合宿
- バドミントン部、書道部に入部

憧れの熊高への入学。嬉しさと緊張感が半々。

- 定期考査
- 進路希望調査
- 県高校総体

先輩が高校生活をアドバイス。「この学校はすごく楽しいよ」との話にワクワク。

まだ自分のレベルもわからない段階で、どう書いてよいか戸惑う。とりあえず、医師になる夢があるため、理系を想定。

7月

- 水泳大会
- 定期考査

苦手の数学は授業についていくのも大変。初めての定期考査では厳しい結果にショックを受け、授業の予習をしっかりとやるようになる。



工藤さん

部活に課外活動にと活発に行動。将来についても考え始める

入学前の状況

小さな頃から好奇心旺盛。中学時代に数学のおもしろさに目覚め、新設の総合学科高校に「好きな数学がたくさん勉強できるのでは」との期待で入学。将来像はぼんやり「数学教師かな」と考えていた。

- 入学
- 新入生オリエンテーション(2泊3日)
- ソフトボール部と
- KJ(寫飾ジャーナル)部に入部

新設校のため部活もゼロからの立ち上げで、ソフトボール部では部長になる。まだグラウンドが完成しておらず、公園や河原で練習する日々。

- 社会人講演会
- 定期考査

興味発見

数学の楽しさに夢中になる。苦手な人が多い中、やっただけ良い結果が出るのが気持ちよく、自然と勉強のドライブがかかる。

- 学問研究スタート

2年の科目登録に向け、興味のある学問分野について調べ始める。

- 定期考査
- 科目登録予備調査



笠原さん

念願のフィンランド留学へ。多様な国の友達ができる

入学前の状況

中学時代に高校生での留学を決意。中学3年の時、留学支援団体の(公財)AFS日本協会のプログラムに応募し、フィンランド留学が決定。帰国後に元の学年に戻るかどうかは、高1の成績次第という状況。

- 入学
- マジック同好会に所属

留学に向け気持ちが盛り上がる。英語の勉強に注力。

- 体育競技会

中学時代に仲間と立ち上げたマジック同好会を高校でも継続。

- 定期考査

1科目でも赤点があると帰国後に学年が下がってしまうため、全教科まんべんなく勉強。「留学のため」と思うと頑張れた。

留学経験者の話から憧れていたフィンランドへ。ホームステイ先の女の子が通うアート系の高校で、現地の生徒と一緒に授業を受ける。フィンランド語も勉強したが、まずは英語でのコミュニケーションが主。校内ではさまざまな国からの留学生が学んでいて、放課後や休日は留学生仲間との交流を楽しむように。



笹先生から保護者へ ワンポイントアドバイス

入学直後は遠距離通学や人間関係の構築などで疲れます。まずは体調を崩さず生活習慣が確立できるよう、気遣ってあげたいですね。勉強面では、中学時代から成績順位が相対的に下がることもありますが、成績を気にするより、高校の勉強スタイルを身につけることが先決。シラバスや部活の先輩の話参考にしよう促してはいかがですか。

1年間を
ふり返って

3月 春休み 2月 1月 冬休み 12月 11月 10月 9月 8月 夏休み

高校は授業の進度が速く、周りはデキる人ばかり。最初は戸惑いましたが、クラスの雰囲気が良く楽しい1年間に。尊敬でき、お互いに刺激を与え合える友達がたくさんできました。



● 球技大会
● 分野別講演会

● 定期考査



修学旅行で京都を訪問

歌舞伎を観て感動。日本文化のすばらしさを多くの人に知ってほしいという気持ちに。

● 修学旅行(関西)

● 定期考査



● 軌道修正

進路希望に沿って理科・社会の科目選択をしなければならず、進路について熟考。「やっぱり好きな勉強をしたい!」と、医師ではなく英語・国際系へ進路希望を変更。担任の先生の「成績的には文系」という分析や、両親に相談した時の「自分の好きなほうを選べばいい」との言葉に後押しされた。

● 2年コース説明会
● 定期考査

● 文化祭
● 体育祭
● 個人面談

成績が向上いてきて、一安心。でも、数学は相変わらず苦手のまま。

文化祭に向け、夏休み中は毎日のように書道部で練習。

● 定期考査

進路行事や授業などで進路を考える機会が多く、好きな数学と将来を結び付けて考えるように。「動かないと何も変わらない」と校外にも出てドンドン動いたことで、少し見えてきました。



KJ部で制作した学校ジャーナル第一号

ボランティアセンターのスタッフに進路の悩みを相談。「大学に行ってから職業を考えても遅くない」とのアドバイスを受ける。大学の数学科への進学を決意。

● 定期考査

○ 葛飾ボランティアまつり(自主参加)

● 2年の科目登録に向けたガイダンス
● 定期考査



プレゼンテーションする機会が中学より増加

“人に尽くす理系の仕事”というイメージで、理学療法士に興味をもつ。

ボランティアに興味があり、学校で配布された公募のチラシを見て参加。人に尽くすことにやりがいを感じる。

○ 看護体験(自主参加)
○ 夏休みの課題で職業調べ

○ プロム(高校のダンスパーティー)

留学中は先のことはあまり考えず、思いきり楽しみました。いろんな国の友達ができたことや、離れてみて日本の文化の豊かさを改めて感じられたことが良かったです。



留学仲間とラップランドを旅行

ホームステイ先の女の子とペアになり、ワルツやタンゴなどのダンスに初挑戦。日本にはないイベントに新鮮さを覚える。

● 帰国後(2年)に向けた文理選択

● 留学期間中

● 興味発見

ディスカッションや歌を取り入れた英語の授業におもしろさを感じる。日本との教育方法の違いに関心をもつ。

家族とのやりとりは、必要な時にメールしたり、月1回スカイプで話す程度。ホームシックにはならなかったが、日本食が恋しくなる。日本の食文化の豊かさを実感。



さまざまな国の友達ができる。

日本に帰国後の高校のクラス分けのために文理選択の書類を提出。母親が送ってくれた進路選択に関するガイドブックも参考にしたが、理数系が得意だったため、あまり深く考えずに理系を選択。

○ フィンランド留学をスタート
○ 家族から数学の教材が送られる

現地の数学は日本で既習した範囲。母親が帰国後の勉強の遅れを心配して教材を送ってくれたが、まったく手をつけず。

※●=学校行事、進路指導(主なもののみ) ○=個人的な活動、できごと

2年生

中だるみもあるが、
行事や部活動では中心的存在。
幅広い経験で精神的に成長

部活中心の充実した日々。
目標校を決めるが、勉強面では中だるみ



目標設定

インターネットで国際関係の学部をもつ大学を調べ、「目標は高くもとう」と筑波大学を第一希望に設定。筑波大学への進学には下宿が必要だが、両親からの反対はなし。

- 定期考査
- 進路希望調査
- 大学について調べる
- 県高校総体

- 個人面談
- 個人研究スタート
- (総合的な学習の時間)

- 水泳大会
- 定期考査

「首相がころころ変わる現代にも龍馬のような人が必要!」と、「坂本龍馬」をテーマに設定。龍馬関係の本をたくさん読んだ。

以後バドミントン部では先輩が引退し、2年生が中心に。2年生の人数が少なかったため、部長だけでなく全員が協力して運営。練習メニューも変わり、ハードな毎日が続く。

8月

夏休み

- 九州大学のオープンキャンパスへ
- 読書に熱中

志望校ではないが、大学とはどんなところかを知るために友人と参加。大学生活への期待感が高まる。

7月

6月

5月

4月

オープンキャンパスで志望校決定。
独自に数学の勉強を深めていく

- 体育祭
- 定期考査

ソフトボール部部长として、新入生の勧誘に奮闘。5人だった部員が倍増し、試合に出られるように。



クラス対抗で競う体育祭で優勝を勝ち取る

- 学部学科ガイダンス
- 個人面談

担任の先生の出身大学、津田塾大学のことを知る。しかし、女子大に良いイメージはなく、あまり行く気にならず。

- 定期考査
- 大学の講義を受講

授業の一環で、大学生に混じって講義を受講。何の講義だったか覚えていないほど、内容はチンプンカンプン。大学とはどういうところかは何となくわかる。



1年の時とは別の大きな病院で看護体験

- 看護体験(自主参加)
- 進路関係の本を読む
- 7大学のオープンキャンパスへ



積極性と英語力を身につけ帰国。
猛勉強で留年危機を乗り越える

- 映像関係の授業を受講

興味発見

映像の授業がおもしろく、ITを活用した映像編集に興味をもつ。他国に留学中の友達に向けたメッセージビデオを作成し、フェイスブックにアップしたら大きな反響が。

留学期間中



- 留学終了(帰国)

ホームステイ先の家族や友達との別れに号泣。帰国後は、日本人の多さや電車の混雑が少し気になる。友達は「お前全然変わってない」と笑い、ずっと一緒にいたように受け入れてくれる。

- 予備校に通い始める

1年間の勉強の遅れを取り戻そうと、猛勉強を開始。夏休み中、予備校にこもって映像配信授業を受ける。

笹先生から保護者へワンポイントアドバイス

高校生活に緊張感がなくなり、中だるみしているように見えることも。しかし、学校では部活動や学校行事などの中心となって活動し、大きく成長する時期です。文化祭や体育祭などに足を運び、子どもの活躍を見てみれば、そんな成長を実感できますよ。また、ゆとりのあるこの時期こそ、家族で生き方や将来について話題にする時間をもってください。

1年間を
ふり返って

3月 2月 1月 12月 11月 10月 9月

春休み

冬休み

部活に打ち込んだり、個人研究に苦しんだり、目指す大学について調べたり…幅広く活動しました。でも、勉強面は1年の時のほうが危機感があって一生懸命だったかも？



春休みになると周囲が続々と塾に通い始め、少し焦る。

●球技大会

●定期考査
●個人研究論文の発表会



●定期考査

無難な成績を維持。まだ受験の現実味がなく、勉強面は中だるみ気味。



書道作品の前で

●文化祭
●書道部部长に就任

文化祭後、先輩の引退に伴い書道部部长になる。下級生を指導したり、先生と部員の橋渡し役をしたり、部の代表として奔走。他校の先生とお話をする機会に恵まれるなど貴重な経験もする。

●体育祭

勉強も楽しく、ソフトボール部も軌道に乗ってきました。進路についても1年の時より具体的に考えるようになり、求めている「人のために活かせる数学」が学べそうな大学を発見。



●定期考査

●修学旅行(関西)



修学旅行で神戸港を訪問

旅行に絡めたグループ研究に取り組む。「関東と関西の街の中にある色の違い」をテーマに研究したのが興味深かった。研究結果は発表会が開かれ、学年全体で共有。

部活後は塾の自習室で勉強。塾仲間と励まし合ったり、先生に進路の相談をしたり。

●定期考査
●個別相談会



難しさを実感。でも、まだ焦りはない。

○独自に数学の問題集を進める
○3年の科目登録
○志望校の過去問に挑戦
○葛飾ボランティアまつり参加(自主参加)

●科目調査
●定期考査

●文化祭

志望校決定

回ってみたら、意外と津田塾大学にピンときた。1年の時のような理学療法士への憧れは小さくなったが、将来はやはり「ものをつくる」よりも「人のためになる」ことをしたい気持ちがあった。津田塾大学ではそんな将来に役立つ数学が学べそうなことや、意欲的な学生が多いという在学生の話などに魅力を感じ、第一志望に。

数学は独自に問題集を購入して挑戦。わからない問題を教えてもらうために数学科の教務室に通ううち、数学の先生全員と仲よくなった。

留学によって自分を表現することや、苦手だったスポーツやダンスにも積極的になり、英語の力も伸びました。現地で教育や映像関係のITに興味をもったことが、進路選択にもつながっています。



●定期考査

放課後は夜まで予備校で勉強し、留年危機を乗り越える。

○センター試験を予備校で模擬的に受験

理系科目がポロポロの結果。



●定期考査



文化祭で和をテーマにしたマジックを披露

志望校決定

慶應義塾大学環境情報学部を理系科目で受験することを決意。

留学中に興味をもった教育や映像関係などを学際的に学ぶことができる大学として、母親から紹介されて訪問。施設が立派で「おもしろいことができそう」と興味をもつ。

●文化祭
●マジック同好会引退
●慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)の学園祭へ

●定期考査

元の学年に戻ったが、数科目が赤点に。「このままでは進級が危ない」と危機感をもって勉強に励む。

勉強のかたわら、学園祭で披露するマジック同好会のショーの練習にも力を入れる。学園祭後は学年全体が受験モードになり、進路について真剣に考え始める。

※●=学校行事、進路指導(主なもののみ) ○=個人的な活動、できごと

3年生

受験ストレスで精神的に不安定になりがち。クラスや部活の仲間、安心できる家庭が大きな支えに

塾へは行かず、自力で勉強。成績の波に、後半は不安感増す

部活の人間関係のトラブルや、厳しい受験を乗り越え達成感

受験を目前に思い切って文転。息抜きもしながら受験勉強

笹先生から保護者へワンポイントアドバイス

安らぎ甘えられる家庭があつてこそ、子どもは困難に立ち向かっていけるもの。受験が近づくと保護者も心配になり、ひとこと言いたくなりですが、保護者の学生時代や兄弟姉妹の経験と比べるのは避けましょう。また、進路選択の主体はあくまで本人ですが、求められたら確にアドバイスすることも必要。難しい場合は、ぜひ学校に相談してください。

● 月3〜4回模試が行われるように

- 定期考査
- 進路希望調査
- 総体・バドミントン部引退

模試であまり良い結果が取れず不安に。



早朝と放課後は学校の自習室で勉強するように。朝は自習仲間と携帯電話で起こし合うなど、友人と協力しながら頑張る。

夏休み

- 三者面談

志望校増

首都大学東京の存在を知る。それまでは筑波大学だけしか頭になく焦燥感が強かったが、いろんな選択肢があることを知り少し気がラクに。

ほとんどが塾に通う中、自分も通うべきか迷う。先生に相談すると、「塾に頼って安心しようとするな」と喝を入れられ、自分は塾に行かず頑張りよう決意。

- 文化祭 ↓ 書道部引退
- 体育祭
- 学校のセンター対策講習を受講

夏休み明けの模試では成績がアップ!

AO・推薦受験者や専門学校希望者が多い学校のため、先生の指導のもと早期に受験校絞り込みへ。津田塾大学を公募推薦で受験することを決める。

- 体育祭
- 定期考査

個人面談

ソフトボール部の人数が増え、人間関係のゴタゴタが発生。どうしたらうまくまとめられるか頭を悩ませる。



ソフトボール部は当初ユニフォームがなかった

- 定期考査
- 進路ガイダンス

課題研究まとめ

ソフトボール部でユニフォームを作成。全員で意見を出し合っってデザインしたのがきっかけとなりゴタゴタも収拾。「皆で勝とう!」と盛り上がる。



文化祭

周囲で専門学校進学やAO入試での大学進学が続々と決まってくる中、受験勉強のモチベーション維持に苦勞。父親が仕事の関係で必死に勉強する姿をみて、「私もがんばらなくちゃ!」と励まされる。

● 定期的に模試を受けるようになる

- 体育競技会
- 進路研修会
- 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)の友人を訪問

1年先輩の卒業生による受験体験談の講話。同じ高校の先輩ならではの具体的な話が参考になった。

得意の英語以外は思うように点数が取れない時期がしばらく続く。

- 定期考査
- 総持寺一泊参禅



総持寺で座禅し精神統一

SFCに進学した留学仲間をお願いして、キャンパス内を探索。大学生になる実感ももて、勉強の意欲もわいた。

軌道修正

- 定期考査
- 文系へ転向

第一志望校対策に集中するため、手のかかる物理と化学をやめ、英・数・国で受験することに作戦変更。留学で得意になった英語が大きな武器に。

入試科目等発表

募集要項が出始める

募集要項等発表

国公立大学

私立大学

専門学校

入試スケジュールの目安

保護者は 進路に どう関わった？



楽観的な態度で 安心させてくれた

「医師志望を転向した時も、志望校を決めた時も、両親はずっと『好きなことをやればいい』と言っていました。直接『頑張る』とはあまり言われませんでした。信頼して応援してくれていたと感じます。3年になって精神的に不安定な時期は、母の態度にずいぶん助けられましたね。模試の判定が悪くて不安だった時も、母は『大丈夫、大丈夫』と楽観的。受験生だからという特別扱いではなく、センター試験前日にも『食器洗っておいてね』というも通り。あまりピリピリせずに過ごせました。センター試験の結果が厳しく落ち込んだ時は、『受かったところに行くべきところ』という母の言葉に、気持ちを立て直すことができました。私が高校生活で柔軟なものを見方ができるようになったのは、母の影響が大きいかもしれません」(森山さん)



父親が昇任試験で 勉強する姿が励みに

「私の両親と祖父は警察官。だから私も両親も警察官以外の仕事のことにはよくわからず、進路は自分でいろいろなりに相談しながら選択してきました。両親は私の希望に反対することはないのですが、自由をさせてくれました。『勉強しなさい』と言われたこともないのですが、3年生の受験勉強が辛い時期、父が仕事のために一生懸命勉強するのを見て、自然と机に向かう気持ちになりましたね。たいていはそんなふうに放任だったのですが、受験の時は私の不安な気持ちを察してか、母から『一緒に行こうか』と声をかけてくれました。待ち時間を一緒に過ごしたことで、平常心で受験できたと感じています」(工藤さん)



「自分で管理しなさい」と口出しは最小限

「両親とは普段からいろんな話をするほうだと思いますが、留学中はあまり連絡をとりませんでしたね。ぼくも楽しい生活に夢中だったし、親もあまり心配していませんでした。ただ、帰国後の留年危機にはさすがに『大丈夫なの？』と心配されました。そんな時も、親は『こうしなさい』ではなく『自分で考えて管理しなさい』というスタンス。予備校通いも進路選択も、たいていは自分で決めてやってきました。しかし、ふり返ってみると、留学に興味をもつようになったのは、留学経験のある母から有意義だったという話を聞いていたから。また、慶應義塾大学を志望校に考え始めたのも、母が紹介してくれたことがきっかけ。要所では親の影響を大きく受けていることを実感します」(笠原さん)

3年間で ココが成長

行く大学ですべてが決まるわけではなく、どこかの大学に行っても自分次第。進路選択や受験勉強での葛藤を通じて、そんなふうにも物事を柔軟にとらえられるようになりました。



3月
春休み
卒業式

進路決定

後期受験の覚悟もしていたが、無事に前期で首都大学東京に合格。

2月
首都大学東京の二次試験受験

1月
冬休み
センター試験受験
個人面談
首都大学東京の赤本購入

うまくいかず、落ち込む。担任の先生のアドバイスや、母親の「受かったところに行くべきところだよ」の励ましに、すぐ立ち直って二次対策に集中。



年明けは「まだここまでしか勉強できていない」と不安が押し寄せてくる。学校の行き帰り、自習仲間と励まし合い気持ちを維持。

12月
定期考査
球技大会



文化祭で書道の作品を披露

自由な学校で、やろうと思わなければ何もできず、やってみたら案外何でもできるものだと学びました。大学受験もソフトボール部の部長も、頑張っている良い結果が出せたのが嬉しいです。



卒業式
学習成果発表会
定期考査

部活の後輩に「真吏奈先輩みたいになりたいです」と言われ、すべての苦労が報われた気持ちに。

定期考査
課題研究発表会

進路決定

きれいな質問は研究し尽くしていたので、自信を持って答えることができ、合格を勝ち取る。

先生と面接練習
津田塾大学受験(公募推薦)



多様な道へ進んだクラスメイトたち

定期考査

進路が決まったことで、高校生活の締めくくりである課題研究発表会の準備に打ち込めるようになった。「微分積分」をテーマに研究を進める。

津田塾大学の公募推薦は、課された数学の問題の解答を出願と同時に提出し、面接でその解答や関連する事項について質問されるという試験。先生に試験官役を頼み、何度も模擬面接を繰り返す。

精神的な成長が大きかったのは、留学時期よりも、帰国後に受験勉強した時期のほうがかもしれません。今後どんな困難にも立ち向かっていけるのでは、という自信になりました。



卒業式
定期考査

進路決定

第一志望の慶應義塾大学環境情報学部合格し、進学を決める。

私立大学6校を受験

定期考査
過去問に取り組む

SFCの2学部15年分の過去問を繰り返し、年末の模試で手ごたえを感じ始める。

早稲田大学の友人を訪問

早稲田大学国際教養学部に進学した留学仲間を訪ね、キャンパスを見学。留学していた時の環境に似ていて興味をひかれる。1年間の留学がカリキュラムに含まれる点にも魅力を感じ、志望校の1つに。



月1回は息抜き日をつくって充電

文化祭

入学手続き
締切

一般入試
二次試験

入学
手続き
締切

AO入試

推薦入試

入学手続き
締切

一般入試

入学
手続き
締切

推薦入試(公募・指定校)

AO入試

入学手続き(随時)

推薦・AO・一般選考(随時)

※入試スケジュールは例年の傾向を示したものの。詳細は各都道府県、大学・学部、専門学校で異なるので、各学校から発表する情報をご確認ください

●=学校行事、進路指導(主なもののみ) ○=個人的な活動、できごと